

# 老齡犬・卒研演習

## (授業概要)

老齡犬：老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についてたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

卒研演習：卒業研究発表（カットショー）の完成度を高めるためにグループワークを交えながら計画立案・実施・整理・資料作成などに取り組む。

また、卒業研究の内容及び関連する学生生活の進め方において、適宜面談等を行い問題解決を図る。

科	生命科学科	教員	稲岡・神坂
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2 コマ

## 目標

### 前期

老齡犬：老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものかをイメージできるようになる。

卒研演習：卒業研究を進めるにあたり、面談を行いながらグループワークを行い交友関係を築く  
使用するウィッグをとぎ、デザインを考えデザイン画を完成させる、パウポの作成開始

### 後期

老齡犬：老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

卒研演習：アレンジ部門のカット開始。パウポも完成させ卒業研究発表会にて発表。その後審査してもらう。

## 授業計画

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 介護①
- 13回 介護②
- 14回 介護③
- 15回 介護④

- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験
- 18回 説明
- 19回 グループ決め
- 20回 デザイン画作成開始
- 21回 ウィッグとき・デザイン画作成
- 22回 ウィッグとき・デザイン画作成
- 23回 ウィッグとき・デザイン画作成
- 24回 練習カット開始
- 25回 練習カット
- 26回 練習カット
- 27回 本番用ウィッグとき・パワポ作成
- 28回 本番用ウィッグとき・パワポ作成
- 29回 本番用ウィッグとき・パワポ作成
- 30回 本番用カット
- 31回 本番用カット
- 32回 本番用カット完成
- 33回 発表練習
- 34回 発表
- 35回 反省と振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・グループワーク・プレゼンテーション

きょうざい  
教材

作成試料

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

# 基礎経営概論

## (授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	生命科学科	教員	津田
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位数	35

## 目標

### 前期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

### 後期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

## 授業計画

- 1回 経営戦略について
- 2回 経営戦略（経営理念、企業のこだわり、理念と戦略）
- 3回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5回 経営戦略（環境分析、SWOT分析）
- 6回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11回 売上管理（数学）
- 12回 売上管理（数学）
- 13回 売上管理（数学）
- 14回 前期試験の対策
- 15回 前期試験
- 16回 前期試験の結果発表
- 17回 前期の振り返り
- 18回 マーケティングについて

- 19回 マーケティングと販売の違い
- 20回 一般的なマーケティングの流れ
- 21回 マーケティング (STP 分析)
- 22回 マーケティング (水平思考)
- 23回 グループディスカッション
- 24回 グループディスカッション
- 25回 マーケティング (顧客価値について)
- 26回 マーケティング (4P について)
- 27回 マーケティング (バリュープロポジションについて)
- 28回 マーケティング (普及率 16% について)
- 29回 グループディスカッション
- 30回 グループディスカッション
- 31回 グループディスカッション
- 32回 前期試験の対策
- 33回 前期試験
- 34回 前期試験の結果発表
- 35回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学・グループディスカッション

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゆっせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎健康管理学 II

## (授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ

科	生命科学科	教員	寺鼻 友美
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。最低限の応急処置、対応ができること、それに加え予防策、接し方を習得する。実際の症例課題を与え、問題点、応急処置対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

### 後期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し最終形態である「死」についても理解を深める。

## 授業計画

- 1回 授業について エマージェンシーとは
- 2回 状態確認の方法
- 3回 外科の応急処置 応急処置 出血①
- 4回 応急処置 出血②
- 5回 応急処置 やけど①
- 6回 応急処置 やけど②
- 7回 応急処置 熱中症①
- 8回 応急処置 熱中症②
- 9回 応急処置 ショック①
- 10回 応急処置 ショック②
- 11回 応急処置 ショック③
- 12回 応急処置 骨折①
- 13回 応急処置 骨折②
- 14回 実習
- 15回 実習
- 16回 前期末試験
- 17回 前期末試験返却
- 18回 応急処置 眼球突出①

- |     |           |         |
|-----|-----------|---------|
| 19回 | 応急処置      | 眼球突出②   |
| 20回 | 応急処置      | けいれん発作① |
| 21回 | 応急処置      | けいれん方法② |
| 22回 | 応急処置      | 感電      |
| 23回 | 応急処置      | 窒息      |
| 24回 | 応急処置      | 誤食①     |
| 25回 | 応急処置      | 誤食②     |
| 26回 | 応急処置      | 中毒①     |
| 27回 | 応急処置      | 中毒②     |
| 28回 | グリーフケア    | ①       |
| 29回 | グリーフケア    | ②       |
| 30回 | 老齢動物の飼育管理 |         |
| 31回 | 若齢動物の飼育管理 |         |
| 32回 | 安楽死       | エンゼルケア  |
| 33回 | 安楽死       | エンゼルケア  |
| 34回 | 後期末試験     |         |
| 35回 | 後期末試験返却   |         |

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい  
教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり (動物看護師)

# 動物関連法規学 II

(授業概要)

主に飼い主や所有者として知っておくべき動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

前期

動物の法的立場や飼い主の責任について理解していく。

後期

マンションにおけるペット問題、動物の譲渡等においてトラブルに巻き込まれないために実例などを元に理解していく。

## 授業計画

- 1回 動物の法的立場 (1) 法律における動物の位置づけ
- 2回 動物の法的立場 (2) 動物に財産を残す場合 その1
- 3回 動物の法的立場 (3) 動物に財産を残す場合 その2
- 4回 動物の法的立場 (4) 保護動物を飼育する場合 その1
- 5回 動物の法的立場 (5) 保護動物を飼育する場合 その2
- 6回 飼い主の法的責任 (1) 民法第718条について その1
- 7回 飼い主の法的責任 (2) 民法第718条について その2
- 8回 飼い主の法的責任 (3) 実例を元に考える その1
- 9回 飼い主の法的責任 (4) 実例を元に考える その2
- 10回 飼い主の法的責任 (5) 実例を元に考える その3
- 11回 マンションにおけるペット問題 (1) 管理規約とは
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 マンションにおけるペット問題 (2) 使用細則とは
- 15回 マンションにおけるペット問題 (3) ペット可のマンションについて
- 16回 マンションにおけるペット問題 (4) ペット不可のマンションについて
- 17回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (1) 寄託契約その1
- 18回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (2) 寄託契約その2
- 19回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (3) 寄託契約に関する実例
- 20回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (1) 贈与契約その1
- 21回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (2) 贈与契約その2
- 22回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (3) 贈与契約その3
- 23回 身体障害者補助犬法 (1) 法の概要
- 24回 身体障害者補助犬法 (2) 身体障害者補助犬の定義

- 25回 身体障害者補助犬法（3）アクセスの保証その1
- 26回 身体障害者補助犬法（4）アクセスの保証その2
- 27回 後期期末試験
- 28回 後期期末試験返却
- 29回 獣医師法と愛玩動物看護師法（1）法の概要
- 30回 獣医師法と愛玩動物看護師法（2）診療行為とは何か
- 31回 獣医師法と愛玩動物看護師法（3）トリマーやトレーナーが行える行為など
- 32回 鳥獣保護法（1）身近な動物の規制について その1
- 33回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その2
- 34回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その3
- 35回 2年総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 皮膚学

## (授業概要)

動物の皮膚の構造を理解し、犬がなりやすい皮膚病、皮膚病になりやすい犬種、なぜ皮膚病になるか、などを学び理解した上で、皮膚病予防にはどんなフードやシャンプーが効果的かなどを学ぶ。

科	生命科学科	教員	楠本
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

動物の皮膚の構造を理解し、皮膚病の原因などを理解する。

### 後期

犬種別にかかりやすい皮膚病を学び、それに効果的なフードやシャンプーなどを理解する。

## 授業計画

- 1回 皮膚の構造
- 2回 皮膚の構造
- 3回 皮膚の働き
- 4回 皮膚の働き
- 5回 人と犬の皮膚の違い
- 6回 人と犬の皮膚の違い
- 7回 犬のなりやすい皮膚病
- 8回 犬のなりやすい皮膚病
- 9回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 10回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 11回 なぜ皮膚病になるか
- 12回 なぜ皮膚病になるか
- 13回 皮膚病になりやすい部位
- 14回 皮膚病になりやすい部位
- 15回 皮膚病に効果的な成分
- 16回 皮膚病に効果的な成分
- 17回 前期期末試験
- 18回 皮膚病に効果的な食材
- 19回 皮膚に効果的な食材
- 20回 皮膚に効果的な食材
- 21回 皮膚に効果的なドッグフード

- 22回 皮膚に効果的なドッグフード
- 23回 皮膚に効果的なドッグフード
- 24回 皮膚に効果的なシャンプー
- 25回 皮膚に効果的なシャンプー
- 26回 皮膚に効果的なシャンプー
- 27回 トリマーができる皮膚病対策
- 28回 トリマーができる皮膚病対策
- 29回 トリマーができる皮膚病対策
- 30回 トリマーができる皮膚病対策
- 31回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 32回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 33回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 34回 後期期末試験
- 35回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

資料を使用しての座学

きょうざい  
教材

資料

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# トリミングゼミ演習

(授業概要、目的)

犬のグルーミング基礎を強化し、10犬種以上のその犬種にあったカットスタイルを学ぶ。  
飼い主様への対応・説明を実際に行い、接客の実践練習を行う。  
また周りをみて行動できる、向上心を持ち積極的な人材となる。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×24 コマ

## 目標

### 前期

犬種ごとのカットスタイルを理解し、実践できるようになる。  
鉋の動かし方を確実に丁寧に行うことができるようになる。  
飼い主対応、カットのオーダーの取り方を理解する。

### 後期

トリミングマスターライセンス取得に向け時間配分・仕上がりを意識しカットが出来るようにする。  
(プードル:ベーシック90分・テディベアカット 100分以内に仕上げ)  
一人で接客対応・説明を行えるようになる。

## 授業計画

- 1回 カット講義 (プードルテディベアカット・ヨーキー以外)
- 2回 モデルグルーミング (プードルテディベアカット・ヨーキー)
- 3回 トリミング演習 (シャンプー犬1人で1頭)・下回りカット
- 4回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 5回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 6回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 7回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 8回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 9回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 10回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 11回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 12回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 13回 前期期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 14回 前期期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 15回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 16回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 17回 トリミング演習 (1~2人で1頭)・特別講義 (ハサミについて)
- 18回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 19回 トリミング演習 (1~2人で1頭)・特別講義 (シャンプーについて)

- |     |                            |
|-----|----------------------------|
| 20回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 21回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 22回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 23回 | トリミング演習 (トリミングライセンス試験)     |
| 24回 | トリミング演習 (トリミングライセンス試験)     |
| 25回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 26回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 27回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 28回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 29回 | トリミング演習 (1人で1頭)            |
| 30回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット開始) |
| 31回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)   |
| 32回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)   |
| 33回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)   |
| 34回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)   |
| 35回 | トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)   |

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・実技実習

きょうざい  
教材

カット資料・グルーミングマニュアル

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# アニマルケア概論

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科	生命科学科	教員	荻野
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定1級合格を合格できるようになる。

### 後期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

## 授業計画

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」
- 2回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ
- 3回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因
- 4回 5 アロマセラピー 6 精油とは
- 5回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 6回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚
- 7回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 8回 16 アロマセラピーと基材
- 9回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 10回 30種類の精油について
- 11回 ホリスティックアロマまとめ
- 12回 ペットアロマ実践
- 13回 試験対策
- 14回 前期期末試験
- 15回 前期期末試験返却
- 16回 ホリスティックマッサージとは ①なでる 手法実技
- 17回 ②たたく 手法実技
- 18回 ③引っ張る 手法実技
- 19回 ④揺らす 手法実技
- 20回 ⑤もむ 手法実技
- 21回 ⑥押しまわす 手法実技

- 22回 ⑦手を当てる 手法実技
- 23回 応用編
- 24回 応用編
- 25回 技術確認
- 26回 実技テスト
- 27回 実技テスト
- 28回 実技テスト
- 29回 実技テスト
- 30回 食事栄養管理について①
- 31回 食事栄養管理について②
- 32回 後期期末試験
- 33回 後期末試験返却
- 34回 食事栄養管理 実習
- 35回 年間まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、演習、グループワーク

きょうざい  
教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10枚 精油一覧表

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

D-HAB 経営

# 接客実践

## (授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける。
- ・独立をした時や就職したときの戦力になることを目指す。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・人と接する中で意識すべきことを知り、接客に役立てる。
- ・売り場を知り、効果的な販売を知る

### 後期

- ・POPについて理解し、活用できるようになる。
- ・イベント企画の流れを知る。

## 授業計画

- 1 回 フォトブース作成 (春)
- 2 回 授業の説明・導入
- 3 回 接客とは (人と接するということ)
- 4 回 第一印象
- 5 回 人の表情
- 6 回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
- 7 回 しょっぴい (売り場を見る) お客様の目線
- 8 回 グループワーク (しょっぴいを見て)
- 9 回 色が与える印象
- 10 回 人の脳と接客の関係
- 11 回 売場作成について (配置・並べ方)
- 12 回 販売のコツ・声かけ・呼び込み・ピラ配り
- 13 回 店内での受付
- 14 回 電話での予約受付・電話での案内
- 15 回 後期振り返り・試験前対策
- 16 回 前期期末試験 (実施)
- 17 回 前期期末試験 (返却・解説)
- 18 回 商品仕入れの流れと接客
- 19 回 しょっぴい (売り場を見る) 店員の目線
- 20 回 年間行事・効果的なセールの開催法

- 21回 商品の魅力
- 22回 POP とは
- 23回 POP (文字練習) ①
- 24回 POP (文字練習) ②
- 25回 POP (作成のコツ)
- 26回 POP 作成①
- 27回 フォトブース作成 (冬)
- 28回 POP 作成②
- 29回 効果的なイベント開催法①
- 30回 効果的なイベント開催法②
- 31回 効果的なイベント開催法③
- 32回 悪徳な販売事例
- 33回 リピーター・新規
- 34回 後期期末試験 (実施)
- 35回 後期期末試験 (返却・解説)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい  
教材

プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物人間関係学

## (授業概要)

人と動物の関係を歴史でさかのぼりながら学び、現代の動物福祉問題を幅広く知り、考えられるようにする。そして社会に出てからも問題に関心を持ち、自らの動物に対する考えを確立できるようにする。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 前期

- ・人と動物の関係性を歴史で遡りながら把握する。
- ・現代の人の社会での動物の立場を理解する。

### 後期

- ・動物が人に与える影響を知る。
- ・人が動物に与える影響を知り、問題を捉え、様々な意見を通じて自ら考える力を身に付ける。

## 授業計画

- 1回 現代のペット事情を知る
- 2回 現代のペット問題を考えよう
- 3回 ヒトと動物の歴史(日本)①
- 4回 ヒトと動物の歴史(日本)②
- 5回 ヒトと動物の歴史(日本)③
- 6回 ヒトと動物の歴史(世界)①
- 7回 ヒトと動物の歴史(世界)②
- 8回 ヒトと動物の歴史(世界)③
- 9回 動物福祉・動物愛護
- 10回 法律上での動物
- 11回 産業動物について
- 12回 実験動物について
- 13回 展示動物について
- 14回 野生動物について
- 15回 前期期末試験(実施)
- 16回 前期期末試験(返却・解説)
- 17回 動物が人に及ぼす影響

- 18回 子どもと動物
- 19回 高齢者と動物
- 20回 罪を犯した人と動物
- 21回 殺処分について①
- 22回 殺処分について②
- 23回 動物虐待について①
- 24回 動物虐待について②
- 25回 多頭飼育崩壊について①
- 26回 多頭飼育崩壊について②
- 27回 ペットロスについて①
- 28回 ペットロスについて②
- 29回 ペットの安楽死について①
- 30回 ペットの安楽死について②
- 31回 ペットの社会進出①
- 32回 ペットの社会進出②
- 33回 後期期末試験(実施)
- 34回 後期期末試験(返却・解説)
- 35回 振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

オリジナルのテキストに準じて進めて行く。

きょうざい  
教材

特になし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅうせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

関係書籍を読む。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり